

No.とプログラム名	No.62 みなとみらい線お仕事体験
実施日・回数	8月6日(火)、8月7日(水) ①10:00~12:30 ②13:30~16:00 合計4回実施
会場	【西区】横浜高速鉄道株式会社みなとみらい線 新高島駅及びみなとみらい駅
参加児童数	29人
企業・団体等名	横浜高速鉄道株式会社 経営管理部
参加の目的 (150文字程度)	横浜市内の小学生にみなとみらい線の駅係員の仕事を体験してもらい、将来鉄道業界で働くことのきっかけづくりにつなげる。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

- ・窓口処理機体験、券売機室見学
- ・自動改札機見学、構内アナウンス体験

当日の流れ（各所要時間合計とバッファで1回につき約2時間30分）

- ・新高島駅改札集合→新高島駅研修室に移動→制服、帽子、一日駅長褌の着用 10分
- ①オリエンテーション 10分（体験プログラムの概要説明）
- ②講話 10分（テーマ：準備をすることが大切、鉄道王国日本は分刻みの仕事）
- ③みなとみらい線キャラクター「えむえむさん」と記念撮影 10分
- ・新高島駅→みなとみらい駅（電車移動）10分
- ・体験プログラム（窓口処理機体験 15分、券売機室見学 15分、自動改札機見学 15分、構内アナウンス体験 20分）
- ・みなとみらい駅駅長室 本日の振り返り、駅長と記念撮影 20分



駅係員自己紹介



展示物見学の様子



当社キャラクターと記念撮影

企業・団体の気付きや感想など (駅係員コメント)

- ・受付開始時間、どの方々も30分近く前からお越し頂き、電車Tシャツや当社キャラクターのキーホルダーをお持ちのお子さまが多く、鉄道業界に関心がある方の当選で安心しました。
- ・受付後研修室にて、当社の展示物をご覧頂きましたが熱心に見学され、お子さまからも「知ってます。」というお声がありました。
- ・各体験中は限られた時間の中、駅係員が説明やご案内をさせて頂きました。マイク放送などは「もう一度やりたい。」とお声が殆どの参加者からあり、積極的なお声に対し何度か楽しんで頂きました。
- ・お子さまだけではなく、保護者の方が笑顔で（最後の閉会時まで）喜んで頂き、駅係員も笑顔を頂き、今回の機会に感謝します。

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024



開会までの時間は、展示物を見てその後駅長よりお話、説明の様子



(写真左)

窓口処理機体験、駅での乗車券の精算処理や運賃の調べ方など説明。皆さん楽しんでおりました。

(写真右)

券売機の裏側を説明。切符はどう作られるのか？中を開けて皆さんで体験し驚かれていました。

企業・団体の気付きや感想など

- ・ 鉄道が大好きな児童が参加。全てのことに興味津々で取り組む姿勢が窺えました。
- ・ 将来鉄道会社で働くために、今何を勉強しなければいけないか、保護者の方々からも熱心なご質問をいただきました。
- ・ 構内アナウンス体験（ホーム放送）が一番人気でした。駅係員が感心させられるマイクパフォーマンスをする児童もいました。
- ・ 児童1人に駅係員1人のマンツーマン体制を取ったことで、児童及び保護者の満足度が高まったと考えます。
- ・ 機械の中や駅務室を見学した結果、駅を運営する仕組みを子供ながらに理解している様子で驚きました。物事の流を理解するという機会は今後の生活にもきっと活かされと感じました。

子ども アドベンチャー カレッジ 2024



ホーム放送体験の様子、1人1回ですがお子さまから大好評で2回、3回とチャレンジされていました。



(写真左)

窓口処理機体験、駅での乗車券の精算処理や運賃の調べ方など説明。皆さん楽しんでおりました。

(写真右)

ホーム案内の様子